



さいかい 市議会だより

NO.77

令和7年
6月定例会号
8月5日発行



西海市議会 (任期)令和7年5月1日～令和11年4月30日

目次

定例議会の概要……………	P1
西海市議会議員の顔ぶれ ……	P2～3
議長挨拶・委員会構成 ……	P4
伝達式及び 定例会で審議した案件結果 ……	P5
常任委員会審査報告……………	P6
一般質問……………	P7～P14
議会のしくみ……………	P14
令和6年度政務活動費 収支実績一覧……………	P15
読者の声……………	P15
議会クイズ終了のお知らせ ……	P16
編集後記……………	P16

令和7年第2回西海市議会定例会の概要

■会期

令和7年6月13日(金)～6月27日(金)まで、15日間にわたり開催されました。

■審議・可決事項

令和7年度一般会計補正予算および条例改正案件など、市長提出議案10件を慎重かつ丁寧に審議・可決しました。

今回は瀬川新市長にとって初めての議会であり、新たな市政の方向性が示された「肉付け予算」が提案されました。

地域課題への対応や今後のまちづくりに向けた具体的な方針が盛り込まれた内容であり、今後の市政運営を占う重要な議会となりました。

■一般質問

改選後初の一般質問では15名の議員が登壇し、西海市の将来を展望した瀬川新市長の方針について率直な質問などが展開され、市政への思いが交わされました。

本誌に写真を掲載しませんか？

表紙に掲載する写真の公募を行っています。詳しくは西海市ウェブサイトをご覧ください、議会事務局までお問合せください。
また、スマートフォンなどでQRコードを読み取ると入力フォームが開き応募ができます。



こちらから応募できます

西海市議会議員の

【任期：令和7年5月1日～令和11年4月30日】

令和7年4月20日に西海市議会議員一般選挙が行われ、代表として活動を展開していきます。市民の皆様、どうぞ



荒木 吉登
(議長)

①西彼町 ②無所属
③創生会

今こそが団結、西海市底力!!
持続可能な、まちづくりへGo



戸浦 善彦
(副議長)

①西海町 ②無所属
③新濤の風

今を感謝。住民のみなさまの
夢を力に動く。『一意専心』
『凡事徹底』



片山 智弘

①西彼町 ②無所属
③新濤の風

デジタルで支え、仕事・子育て・
地域に力を!



石崎 義信

①西海町 ②無所属
③創生会

いつもニコニコ元気パワー



中村 和也

①西海町 ②無所属
③創生会

継続に挑戦。



瀧瀬 栄子

①大瀬戸町 ②日本共産党
③西海市議会日本共産党

引き続き、市民の声をとどけ、そ
の実現に一生懸命がんばります!



川口 正幸

①西海町 ②無所属
③創生会

子どもたちのために



川口 隆之

①西彼町 ②自由民主党
③創生会

みんなでつくろう!「さいかい
新時代!」



新たな顔ぶれ

16人の議員が当選しました。これから4年間、住民の
よろしくお願いいたします。



氏名

【記載内容】

①地区 ②党派
③会派

キャッチフレーズ

※議席順に掲載



西川

勝則

①西海町 ②無所属
③創生会

市民の命を守るまちづくり、
次世代に未来をつなぐ



杉山

誠治

①大島町 ②公明党
③創生会

「誠実一路」の政治を目指す
杉山誠治



百岳

忠彦

①大島町 ②無所属
③創生会

皆様の声を受け、笑顔になれ
る町づくりを目指して頑張り
ます。



打田

清

①西海町 ②無所属
③志政会

市民の声を市政に届け、住み良
いまち、持続可能なまち西海
市へ！



平井

満洋

①西彼町 ②無所属
③耆粒会

皆様の声を大切に、フットワ
ークは軽く、責任は重く受け止
めます。



宮原

達也

①西彼町 ②無所属
③耆粒会

小さな声を大きな力に



谷口

雅樹

①大島町 ②無所属
③新政会

元気な西海へ「人々の交流の
場」「若者の政治への関心を
高める」



浅川

容行

①大瀬戸町 ②無所属
③新政会

政治に新風!! 期待感を納得感
に変えられるよう全力で働き
ます。





議長 荒木 吉登

議長就任あいさつ

本年4月20日に執行されました西海市議会議員一般選挙を経て、5月1日から新たな西海市議会が発足いたしました。

そして、5月16日の臨時議会におきまして、第6代目となる議長に就任することになりました荒木吉登でございます。

もとより微力ではございますが、地方自治の振興と住民福祉向上のため専心努力し、最善を尽くす所存でございますので、何卒格別のご指導とご厚誼を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、今回の改選におきましては、幅広い年齢や分野から議員を志すことができるような環境整備と、市議会の活性化を目的として、議員定数を18名から16名と削減し、議員報酬も改定を行いました。結果としましては、半数となる8名の議員が新しい顔ぶれとなり、年齢構成も若返っております。これまでの西海市議会の歴史を尊重しつつ、今後は新しい風を取り入れながら、議会運営に尽力してまいりたいと考えております。

西海市を取り巻く状況は、歯止めがかからない人口減少や雇用の確保など、依然として大変厳しいものがあります。しかし、そのような中において、江島沖の洋上風力発電事業やJENESIS松島計画、大島地区工業団地の開発など、将来に期待が持てる大型事業が推進されています。また、救急クリニックの開院や各種スポーツ大会での上位進出など、医療や教育分野でも明るい話題が続いております。

我々、議員一人ひとりの役割は、今後迎える局面ごとに多様化し、様々な場面で臨機に対応する能力や決断力が求められるものと認識しており、市民を代表する者として、また、議会を代表する議長の職責にある者として、その責任の重大さに改めて身の引き締まる思いでございます。

これからも西海市議会は、二代表制の一翼を担うものとして、市政に対して十分なチェック機能を果たすとともに、議員自らの政策形成能力を高め、皆様が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。その上で、議会活動にあたりましては、多くの方々の知恵とお力が支えとなります。今後とも、市民の皆様のより一層のご支援ご協力を心よりお願い申し上げ、議長就任のご挨拶とさせていただきます。

委員会構成

議会運営委員会(6人)…議運

総務文教厚生常任委員会(8人)…総務

産業建設環境常任委員会(7人)…産建

予算決算常任委員会(15人)…予算

基地対策特別委員会(8人)…基地特

議会広報広聴委員会(7人)…広報

◎=委員長／○=副委員長

議員氏名	所属委員会及び役職					
【議長】荒木 吉登						
【副議長】戸 浦 善 彦			産建	予算		広報
片 山 智 弘	議運	◎総務		予算		◎広報
西 川 勝 則	○議運		産建	○予算	◎基地特	
杉 山 誠 治		総務		予算		
百 岳 忠 彦			産建	予算	基地特	広報
石 崎 義 信		総務		予算	基地特	
中 村 和 也			○産建	予算	○基地特	広報
瀧 瀬 栄 子	議運	○総務		◎予算		
打 田 清	議運		◎産建	予算	基地特	
平 井 満 洋	◎議運		産建	予算		
宮 原 達 也		総務		予算		広報
川 口 正 幸		総務		予算	基地特	
川 口 隆 之		総務		予算	基地特	
谷 口 雅 樹			産建	予算		○広報
浅 川 容 行	議運	総務		予算	基地特	広報



全国市議会議長会表彰状伝達式



(前列左) 渡辺 督郎 さん
(前列中央) 宮本 一昭 さん
(前列右) 朝長 隆洋 さん

第101回全国市議会議長会定期総会において、本市議会より一般表彰として、市議会議員在職15年以上で平井満洋議員、市議会議員在職10年以上で前議員の渡辺督郎さん、正副議長在職4年以上で、前議長の宮本一昭さん、前副議長の朝長隆洋さんがそれぞれ表彰され、その表彰状伝達式が6月13日の本会議終了後に行われました。



令和7年第2回定例会で審議した案件及び結果

議案等番号	件 名	議決等年月日	議決の結果
報告第9号	令和6年度西海市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	令和7年6月13日	報告済み
報告第10号	令和5年度決算に係る財務書類4表の報告について	令和7年6月13日	報告済み
報告第11号	ときわ台小学校区スクールバスの事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	令和7年6月13日	報告済み
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	令和7年6月13日	支障なし
議案第32号	西海市都市計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年6月27日	原案可決
議案第33号	西海市税条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年6月27日	原案可決
議案第34号	西海市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年6月27日	原案可決
議案第35号	西海市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年6月27日	原案可決
議案第36号	令和7年度西海市一般会計補正予算(第2号)	令和7年6月27日	原案可決
議案第37号	財産の取得について	令和7年6月27日	原案可決

◎ 常任委員会審査報告 ◎

総務文教厚生常任委員会

議案第37号 財産の取得について 原案可決

この議案は、今回小型動力ポンプ積載車1台及び小型動力ポンプ付積載車2台の合計3台を購入するものである。更新する3台のうち2台は経過年数25年以上、うち1台は13年余りとなっている。

質疑 経過年数が13年余りの積載車は海岸に近い場所に配置されている。購入時点での塩害対策は行っているのか。

答弁 現在のところ購入時点で車体等への防錆加工以外に塩害に対する特別な対応を行っているわけではない。今後塩害対策で他に出来る対策があれば検討したい。

質疑 災害予防計画では毎年度3台ずつ更新する計画であるが、今後は更新対象となる経過年数20年以上の積載車が、年によって4台となる予定がある。これからは4～5台更新する必要があるという認識でよいのか。

答弁 そのような考えである。



産業建設環境常任委員会

議案第33号 西海市税条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

この議案は、令和7年3月31日に地方税法等の一部を改正する法律等が改正されたことを受け、西海市税条例の一部を改正するもの。具体的には個人住民税に「特定親族特別控除」が新たに設けられたことによる関係規定の整備、公示送達に関する規定の整備、加熱式たばこの課税方式の見直しに係る附則の新設等である。

質疑 公示送達とは何か。

答弁 行政機関が私人に通知等を行うに当たり、その者の所在が不明である場合等に一定期間掲示をする制度。インターネットを用いて掲示する方法が加わる。



予算決算常任委員会

議案第36号 令和7年度西海市一般会計補正予算（第2号） 原案可決

- 補正額
13億53万9千円
- 補正前
209億2,750万4千円
- 補正後
222億2,804万3千円



◆主な事業内容◆

◎交通政策費

路線バスの安定的な運営を確保するため、運営費の補助を行うもの。9,513万2千円



◎移住定住促進事業

人口減少問題や空家問題を解決するため、空家改修費用の補助などを実施し、移住定住促進を図るもの。



1,830万8千円

◎消防施設整備事業

老朽化した消防団格納庫・詰所の建替を行うもの。

5,700万6千円

◎市内高等学校魅力向上支援事業

市内高等学校の魅力向上に資する事業に対して補助を行うもの。1,014万円

◎大瀬戸小学校施設等整備事業

老朽化により劣化が進んでいる大瀬戸小学校の校舎について、改修工事を行うもの。

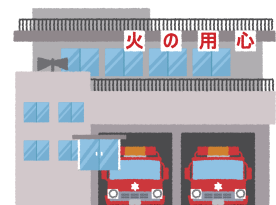
3億8,189万8千円

◎社会体育施設トイレ洋式化事業

大瀬戸総合運動公園体育館のトイレ洋式化を図るもの。3,004万円

◎大島学校給食共同調理場解体事業

㈱大島造船所から借り受けている土地に建設されている大島学校給食共同調理場について、令和10年3月31日をもって返還する必要があるため、解体するもの。4,231万9千円





創生会
あら き よし と
荒木 吉登

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

交通空白地の支援について

問 スマイルワゴンの待機時間の解消と、区域を越えた通行を可能とすることで、利用者の効率性と利便性に配慮した地域公共交通の再構築を検討する考えはないか伺う。

市長 スマイルワゴンの役割としては、各運行区域内での医療機関や商店などへの移動や、国道など幹線道路のバス停まで接続するための移動を担っており、幹線道路の移動や、運行区域を超える移動については、路線バスやタクシーを利用いただきたいと考えている。

問 今後の交通網の再構築が整うまでの期間、日常生活における医療や買物等が困難な対象地区を設け、タクシー券配布等の支援事業ができないか伺う。

市長 令和7年1月24日開催の西海市公共交通活性化協議会において市議会における御意見について報告を行い、今後議論を進めていくこととしている。

その件についても、議論の結論を待って有効な支援策を打ちだしてまいりたい。

物価高騰に伴う米の支援について

問 米の安定供給と持続可能な農業を支援するため、生産農家に対して何らかの支援策を講じる考えはないか伺う。

市長 県においては、未来へつなぐ水田農業産地支援事業として、水稻高温耐性品種への転換等と併せて、水田営農品目の省力化や低コスト化に対する支援制度が創設されているほか、遊休農地を活用した水稻の生産拡大を図る場合には、市の助成制度である、荒廃農地再生事業や、農地等整備工事費補助金による用排水路や農地の補修事業等も活用できるものと考えている。

問 今後、米の価格高騰が起きた際、市民に対して、お米券を配布する等の消費者支援策を実施する考えはないか伺う。

市長 現在、米に限定した事業ではないが、令和7年度当初予算に物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源とした、プレミアム付商品券発行支援事業の予算を計上し、実施に向けた準備・調整作業を進めている。



西海市議会
日本共産党
ふち せ えい こ
湊 栄子

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

すべての75歳以上の高齢者に交通費助成を

問 75歳以上の高齢者に対する交通費助成の対象地区の指定を撤廃すべきと思うが、市長の見解を伺う。

市長 西彼町上岳行政区川山分区など7地区に住む75歳以上の方を対象とし、年額1万円を上限にバス代やタクシー代等の利用券を交付する事業で令和6年度実績で9名の方に助成を行った。ただし、障がい者手帳を持っている方や介護サービスを受けている方には、地区や年齢の制限を設けず助成している。仮に、対象地区の指定を撤廃し75歳以上の高齢者の方全員を対象として同様の助成を行った場合、2,000万円以上の追加費用が必要であると想定され、その財源の確保が大きな課題となる。交通費助成の今後のあり方について、スマイルワゴンや乗り合いタクシーのあり方も含め、西海市公共交通活性化協

議会において協議を進めることにしている。

問 西海市バス路線維持費助成は、令和元年では約5,110万円だったものが令和7年度では約9,500万円になっている。欠かせない市民の足として路線バスを維持するために、経常損益に対して補助する形から高齢者の交通費助成の対象を拡充することにより、路線バスを利用する人を増やす乗車することに補助する形をつくれぬか。

政策企画課長 タクシー助成券をうまく活用することによって、その欠損補助の部分を下げつつ、トータルで路線バスの利用に誘導する考えは一定理解するが、実際にそれに要する経費の仕組みや費用負担が実際どう動くのかも含め研究しないといけない。地域公共交通のあり方の全般を検討中であり、その辺も含めて研究対象とする。





創生会
かわぐち まさ ゆき
川口 正幸

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

小中学生のスポーツ・文化活動の機会確保について

問 中学校部活動の地域移行についての具体的方策を伺う。

教育長 本市においても、国の方針に従い、可能な限り早期に地域移行を進める所存である。具体的方策としては、部活動移行の受け皿となる地域クラブの充実を図るための支援策について、地域移行の在り方検討委員会で検討を進める。現在、地域クラブ1団体、拠点校部活動1団体を試験的に地域移行や地域連携のモデル事業として実施している。令和7年度にはモデル事業の検証を行い、課題の洗い出しと改善策を検討し、まずは休日の地域移行を進める予定である。休日の地域移行が完了した後は、教職員が休日の部活動の指導に関わることは、原則、なくなるが、それまでの経験を生かし、地域団体や指導者との連携を図りながら、生徒の健全な育成を支援

する役割を担っていただくことが考えられる。人材確保に関する質問については、具体的にどのような方法を用いて確保するのかという点については、具体的な在り方検討委員会の中ではまだ出てきていない状況である。



小中学生の学力向上対策について

問 西海市学力向上5アッププロジェクトについて伺う。

教育長 本プロジェクトは、確かな学力向上のために、学校、保護者や地域、教育委員会が一体となって、主体的に学びに向かう子供の育成を目指すものである。学びに向かうモチベーションアップを中核に、ICT活用教育DXのレベルアップ、教職員のスキルアップ、英語力向上のチャレンジアップ、学校や地域からのボトムアップの5つの具体的な方策を掲げ、取組を始めたところである。



創生会
なか むら かず や
中村 和也

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

最終処分場整備事業について

問 最終候補地が中浦南郷の伊佐の浦ダム上流に位置している。最終処分場の必要性は理解するが西海町全域で農業用水、大島、崎戸では水源として利用されている。候補地を再考する考えはないか伺う。

市長 これまでの選定経過を踏まえ、十分に確認、検証し、各方面からの声をお聞きしながら、様々な可能性を排除せず、今後の本市の廃棄物政策について検討していく。

農家民泊を利用した地域活性化について

問 本市では、年間1,400人の修学旅行生が農家民泊を利用している。長崎市での平和学習、佐世保市でのハウステンボス見学を考慮すると、本市はその地理的条件を活かした更なる観光資源を秘めていると考える。そこで農家民泊の市の認識と対応、今後の取組、空き家やタイニーハウスの活用の可能性について伺う。

市長 4月から6月にかけての教育旅行受入れ期間中に受入れ見学、体験会を実施する。また、7月以降、月に1回程度、農家民泊に関する説明会を実施し、登録作業に際しては、事務サポートや補助の内容、条件等を丁寧に説明することで、協力していただける方を増やしていきたい。自然体験学校理事長の若林先生にアドバイザーとして就任いただき、市体験観光推進協議会を組織し、体験コンテンツの造成を行っている。空き家利用については、改修補助金を活用していただきたい。タイニーハウスについては、新規就農者の一定期間使用を予定している。

有害鳥獣対策について

問 ワイヤメッシュ柵においては国が示す耐用年数14年超の物も存在する。過去のデータを利用して改修を呼びかける考えはないか伺う。

市長 管理状況の確認を行い、再整備の意向がないか協議する。



有害鳥獣▶



創生会
ひゃく たけ ただ ひこ
百岳 忠彦

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

一般廃棄物最終処分場について

問 家庭ごみと生活排水を中間処理した後の最終処分場は伊佐ノ浦ダムの上流に計画しているが、伊佐ノ浦ダム貯留水は、畑地灌漑用水として利用されており、ダム下流域では、大島町と崎戸町五千数百名の市民が飲料水に使用している。計画中の最終候補地は不適切と考えるが市長の考えを伺う。

市長 これまで選定してきた経過を十分確認・検証し、各方面からのお声をお聞かせいただきながら、様々な可能性を排除せずに、今後の本市の廃棄物政策について検討してまいりたい。

問 埋立灰や飛灰には有害性はないのか。

環境政策課長 埋立物を通った浸出水については、水処理施設にて処理を行っている。

問 遮水シートとコンクリートの耐用年数について伺う。

環境政策課長 遮水シートは、メーカーの実験では約

40年と示されているが、実際の運用状況から耐用年数はこれより長いものと考えている。コンクリートについては、一般的に50年程度とされている。

問 前市議会定例会で、計画している整備費用は22億円と話されたが、新しい処分場はつくらず、どこかに引き取ってもらうという議論はなかったのか。

市民環境部長 本市としては、自治体の中でごみの回収から最終処分までを行うことで計画する方向で進めてきた。

崎戸町無医師地区解消について

問 崎戸本土における医療施設と、交通手段の政策について伺う。

市長 崎戸町の医療機関については、解決すべき最重要課題である。市全体としても安心できる持続可能な医療体制の構築に向け、県や医師会など関係者と連携を図りながら検討していく。交通手段の政策については、アンケートで「医療機関までの送迎サービス」の優先度が高かったことを受け、必要な政策を検討していく。



松島架橋について

問 現時点での工事費用はどれくらい見込まれるのか伺う。

市長 本定例会へ補正予算として『松島架橋概算工事費算出業務委託料』を計上している。

問 松島架橋実現に向けての政策を持ち合わせているのか伺う。

市長 まずは、概算工事費、架橋により削減可能な行政コスト、また新たに発生する行政コストについて協議した上で、改めて政策案を示したい。

バス停シェルターの設置について

問 スクールバスを利用する児童たちのために『中浦局前』バス停にシェルターを設置する考えはないか伺う。

市長 現況においてのシェルター設置は難しいと考えるが、地域において、当該乗車場所付近で、雨風がしのげる場所を確保のうえ、必要な整備を行なってもらえば、それに対して支援することは検討できる。

こども福祉医療費助成制度について

問 小学校新1年生を持つ世帯では、4月1日以降に福祉医療費受給者証が届くまでの間、一時的に自己負担が発生している。そこで、受給者証を4月1日から使用する事ができないか伺う。

市長 他自治体の事例を参考に、制度や事務の方法等を研究した上で、改善に向け取り組む。



吉粒会
ひら い みつ ひろ
平井 満洋

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

長崎オランダ村について

問 訴訟に係る審理状況と早期解決に対する考えを伺う。

市長 弁論準備手続が原則非公開で行われることを踏まえ、現時点で、具体的な審理内容については控えさせてもらう。時期的にいつ迄とは言えないが、早期解決に向け努力する。

公衆トイレについて

問 老朽化が進む西彼中央グラウンド横の公衆トイレの改修について伺う。

市長 現地が地盤沈下の影響を受けていることから、改修内容によっては多額の費用を伴う事が予想される。優先度等を考慮しながら検討する。



西彼中央グラウンド横公衆トイレ



志政会
うちだ きよし
打田 清

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

市内医療提供体制の現状と改善策について

問 西海救急クリニックが開院し、救急医療体制は整ったと考えられるが、山崎医院の閉院により崎戸本土地区は無医地区となった。市長は選挙戦において「無医地区解消に取組む」と訴えていたが、この現状に対し、どのような改善策を講じる考えか伺う。

市長 県と連携し崎戸町を含む大崎地区における課題の洗い出しを行い取組内容について検討する。

産業振興について

問 企業誘致による地域経済の活性化には相当な勇気と行動力が必要と思うが、市長はどのような姿勢で取組むのか伺う。

市長 これまで培ってきた知識と経験、人脈を最大限に活用し、有望な企業へのトップセールスや、国、県など政策的な協議、交渉による企業誘致を積極的に進める。

最終処分場建設計画について

問 前市長が進めて来た現計画の選定した最終候補地について市長の見解を伺う。

市長 前市政で様々な検討を行い、選定して来たものと認識している。選定してきたプロセスを十分に確認し、様々な方面からの意見を伺い、本市にとって最善なものとなるよう判断してまいりたい。

西海ふるさと便事業の再開について

問 再開を強く望む市民の声に対し、再開を検討する考えがあるか伺う。

市長 再開希望の声を重く受け止め、事業再開に向けて進めたい。関係先から意見集約後、新制度の詳細を決定し、令和7年第3回定例会補正予算への必要経費の計上を検討し、その上で予算の議決をいただきましたら、11月中の再開を目指す所存である。

小中学生の登下校時における安全対策について

教育長 児童生徒の生命に直結する重要な課題であることから、継続的な指示、指導を行う。



創生会
いしざき よしのぶ
石崎 義信

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

大瀬戸ふれあいプールの温水化及び今後の施設運営について

問 維持費管理の財源確保で利用者の増加に繋がる事業を実施することで維持費管理費への充当が可能と考えるが教育長の考えを伺う。

教育長 温水化について現時点において有効な財源は無く起債を活用することになり旧崎戸温水プールの場合でも利用者の増加に繋がる利用者数を踏まえた上で試算すると高額な料金設定となり維持費管理を充足する財源確保は困難である。

問 市民の健康増進や子供達の水泳教室は実施できないか伺う。

教育長 利用者のニーズや指導者の確保状況を踏ま



え、可能な範囲で検討する。

問 交流人口の有効活用を図るため合宿の誘致を行い利用時間での専用レーン施設閉館時間帯の利用の有効活用ができないか伺う。

教育長 合宿の誘致等団体への利用促進策は有効な手段であり、利用者の少ない時間帯での専用の利用については一般来場者の動向を見ながら検討する。

西彼保健福祉センター遊湯館の温泉施設について

問 市内外から多くの利用者を集め地域の交流人口の向上に寄与している。令和6年度は前年度と比較して利用者が20%減少している理由を伺う。また、今後の利用者数の見通しについて伺う。

市長 令和6年2月より浴室設備の故障をきっかけに利用時間の短縮、休館日の増加が影響しているものと考えられ令和7年度も同程度と見込んでいる。令和7年度において改修工事を計画しており施設の長寿命化と適切な管理向上と安心して利用いただける環境整備に努める。

子供食堂への支援について

問 民間事業者との協力体制を構築し支援策を検討できないか伺う。

市長 民間主体の自由で柔軟な活動の特性損なわないよう配慮し活動が持続可能になるように努める。



創生会
かわぐち たか ゆき
川口 隆之

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

中学校生徒通学費補助制度について

問 校区外の中学校に通学している生徒が補助対象外となっている理由について該当する世帯から改善を求める声が寄せられているが市としての考えを伺う。

教育長 校区内との平等性の観点から通学費補助の対象から外れることに保護者の同意の上で許可している。

問 校区外の生徒も通学費補助の対象にする考えはないか伺う。

教育長 区域外通学者に対し、今後何らかの支援が出来ないか、他の市町の状況を確認しながら研究していく。

選挙の投票率について

問 小迎郷の第1投票所である上小迎公民館は玄関の段差が50cm以上あり、車いす利用者や高齢者に

とって誰もが投票しやすい環境に改善する考えはないか伺う。

選挙管理委員長 区長等、地域の意見をお聞きしながら検討したい。

西彼中央運動場の改修について

問 西彼中央運動場は、立地の良さから長崎市や佐世保市から、練習試合や様々な大会が開催され年間多くの施設利用者がある。しかし、フェンスの破損や腐食等の老朽化が進行している。また、グラウンド内の水はけ等の悪化、特に大雨後の砂の流れが酷く、自費で砂を購入して整備を行い、大雨後の利用者はグラウンド整備に苦慮しており、早急な改修が必要と考えるが今後の対応について伺う。

教育長 迅速な対応が必要となるため、可能な限り早期に改善策を講じてまいりたい。



雨天時の西彼中央運動場の状況



創生会
すぎ やま せい じ
杉山 誠治

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

市道維持管理について

問 定期的なパトロールは逐次行われているのか。市道沿いの樹木は倒木や枝の落下の恐れがないか、十分な確認は行われているのか。

市長 建設課職員や、道路パトロール員2名による日常点検を行っている。側溝清掃や伐採、舗装補修などについては、作業班6名により逐次実施している。

市道の整備について

問 市道の側溝には蓋を設置するべきではないか。歩道の整備が必要だと考える。

市長 事故発生箇所や危険が認識されている箇所については、段階的に安全対策を進めていく。道路構造令に照らし合わせると、歩道整備の義務はないが、西海市通学路安全推進会議の中で、必要な整備に努める。

崎戸海浜公園の道路案内板について

問 案内板の位置を変更するか、または案内板の大きさを改善することはできないか。

市長 市民や観光客にとっての利便性が高まるよう、現状の確認と、改善策の検討を進める。

西海救急クリニック及び西海スポーツガーデンの共用道路について

問 施設利用者の通行上の安全対策及びそれぞれの施設の防犯対策が適切に実施されているのか。

市長 カーブミラー2基の新設と、施設専用道路における中央線、車両を誘導するための矢印や一時停止線を新たに引き直した。防犯対策については、不審者の侵入や被害報告はない。

スクールバスについて

問 本市が辺地として指定している幸物行政区などに、スクールバスの運行を拡大する考えはないか。

市長 路線バスが廃止されたことに伴い、西海市立小学校及び中学校児童・生徒通学費補助金交付要綱の補助金額見直しに

による支援拡充を早急に検討してまいる。





新政会
あさ かわ ひろ ゆき
浅川 容行

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

選挙における投票率向上に向けた取組について

問 主権者教育の一環として市内小中学校で模擬選挙を実施する考えはないか。

市長 各学校の実態に応じた主権者教育の充実を図るとともに、活用可能な事業等の案内があった際には、各学校への周知を図り、積極的な活用を推進したい。

問 中山間地域や斜面地に暮らす高齢者を対象に「移動投票車」を導入する考えはないか。

選挙管理委員長 過去に他自治体の導入事例を参考に検討したことがあるが時間限定の「出張投票所」による対応の方が、経済性もあり高齢者の投票機会の確保には有効であると考え、本年4月の選挙において西海町白岳地区にて実施した。

松島架橋の早期建設について

問 これまでの架橋実現のための取組は十分であっ

たと考えるか。

市長 絵画コンクールや国・県に対する要望活動等が実施されてきたが、具体的な進展があっていないのも事実であり、この点については十分でなかったとも考えている。

問 今後の取組として、振興ビジョンまで含めた「令和版松島架橋建設促進調査」を行うべきではないか。

市長 令和版の調査については有意義であると考えますが、まずは概算工事費の再算出等をもとに、国や県等との勉強会を行い、その状況により今後の検討課題としたい。



離島医療・地域医療について

問 松島診療所の常駐医師確保に向けたこれまでの取組と今後の計画はどうなっているのか。

市長 6月に入り勤務を希望する医師の申し出があり、本年8月1日の採用に向けて島内の住環境の整備を含めた準備を行っている。

問 崎戸地区の無医地区解消は、具体的に診療所等を設置することによりその解消を目指すのか。

市長 診療所等を設置するというだけの考えではなく、オンライン診療などの先進的な医療モデルも含めた形で今後検討していく。



新濤の風
かた やま とも ひろ
片山 智弘

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

D X推進の取組について

問 D X推進班の取組と実績・今後の方針は？

市長 電子申請や電子入札など業務の効率化を進めてきた。今後は窓口D Xやキャッシュレス化を進め市民にとって利便性の高い行政サービスの提供を目指す。

問 5つのレスの進捗は見える化されているか？

情報推進課長 コピー費や決裁件数で効果を数値管理している。

問 生成A Iの導入について今後の方針は？

さいかい力創造部長 使い方をしっかり学びながら、職員全体が活用できるよう展開していきたい。

出前講座のあり方

問 動画配信の検討はあるのか？

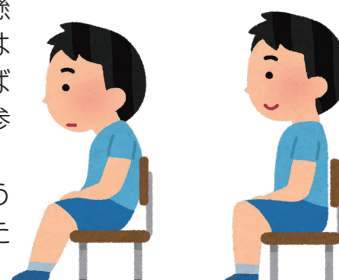
さいかい力創造部長 可能な範囲から段階的に導入を進めたい。

学習椅子の環境改善

問 クッション導入を検討できないか？

教育長 姿勢悪化の懸念があり、一律配布は難しい。要望があれば学校へ相談の上、持参して使用可能。

教育次長 学校で使う備品など研究を進めたい。



行政区の見直しと運営改善

問 人口減少踏まえ行政区再編に対する市の方針は？

市長 地元の要望があれば、必要に応じ支援していく。

問 行事等を通じた交流促進の考えは？

市長 財政を考慮しつつ、実施へ努力していく。

問 広報紙配達の費用は？また、公平性の課題についての見解は？

政策企画課長 令和7年当初予算で132万円である。

総務部長 旧町事情が異なり、現状での統一は難しい。

問 行政区長報酬の違いについて統一の可能性は？

総務部長 旧町制度を踏襲しており制度見直しは課題である。



吉粒会
みや はら たつ や
宮原 達也

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

市内高校の存続について

問 西海市の子ども達が市内の高校に進学し、地元の企業に優先的に就職できるような支援策等について伺う。

市長 市内3高等学校合同説明会の開催。高校生、保護者を対象とした市内企業の見学会。有償型インターンシップ。これらの取組を効果的に促進するため、既に高校と企業の連携調整等に努めていただいている。

問 市内3校への進学を推奨したいが、バスの乗継など通学の便が悪いという問題について、市としてどのような改善策を検討しているのか伺う。

市長 市内で路線バスを運行している、さいかい交通は、長時間労働規制強化や運転手不足、高齢化などを背景として、非常に厳しい経営環境にあるが、通学、通勤の需要を中心として、必要な便を維持し、ダイヤ調整に努めていただいている。

問 市内高校の定員割れの原因分析について伺う。

教育長 全国的にも喫緊の課題である人口減少や、少子化が大きな要因であると考えている。更には、私立高校にみられるようなスクールバスの運行が充実しているといった点も、大きな要因ではないかと分析している。

問 定員割れという現状に対する対応策について伺う。

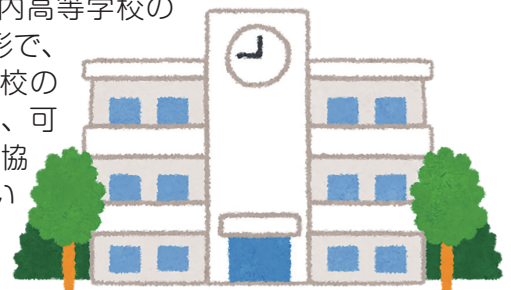
教育長 市内高等学校魅力向上支援事業補助金を平成28年から設け、入学者確保に向けた支援策を講じている。

問 市内3校の独自性を活かした魅力ある学校づくりに向けての支援を行っているのか伺う。

教育長 魅力ある学校づくり支援事業、進学及び就職支援事業、大学進学応援事業、入学支援事業を設け多角的に支援している。

問 現状の支援策で十分であると評価しているのか伺う。

教育長 市内高等学校の希望に沿う形で、市内高等学校の存続に向け、可能な限りの協力を努めていく。



新濤の風
と う ら よ し ひ こ
戸浦 善彦

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

在宅高齢者等介護用品支給事業について

問 近年の物価高騰により、紙オムツ等の介護用品の価格も上昇し、その結果、介護をしている家族の負担が増加している。他の市町の状況も考慮し、制度の見直しを行い、さらなる拡充を検討する考えはないか伺う。

市長 前向きに検討と研究を行い、状況を分析してからの判断になる。

地方公務員の兼業について

問 地方公務員が地域に貢献する仕事を通じ、報酬を得て、やりがいや生きがいを感じ、さらには地域の人材不足を補うことにもつながる制度である。西海市職員の兼業を進める考えはないか伺う。

市長 総務省より通知があり、今後は、それを参考にし、西海市職員が地域の一員として、より主体的に関わり合いながら、地域の課題解決に貢献でき、

やりがいや生きがいを感じることができるよう、多様な働き方を可能とする制度構築について、検討を進める。

西海市指定史跡の活用について

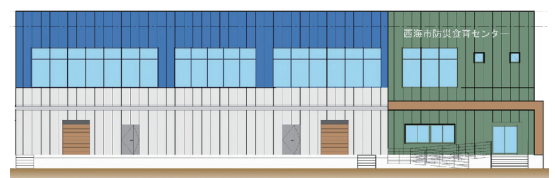
問 本市の指定史跡である伊ノ浦砲台跡は、歴史的価値がある。今後、適正に管理し、活用する考えはないか伺う。

教育長 文化財として指定する意義や要件を踏まえ、地域住民や観光客の方々が歴史について学ぶ機会の充実を図り、伊ノ浦砲台跡が市民の誇りとなり、訪れる方々にとっても有意義な場所となるよう努める。

防災食育センターの計画について

問 計画が進められている施設は、災害時には防災拠点とし、平時には、学校給食の調理をする多機能な施設である。今、計画どおり進行しているのか伺う。

市長 現計画から、一度立ち止まり建設候補地を含む内容の再検討と計画時期の変更を行う。供用開始は、当初の令和9年度より、3年後になる。



西海市防災食育センターイメージ図



新代会
たに ぐち まさ き
谷口 雅樹

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

イノシシ被害の対策について

問 イノシシによる被害は、年間を通じて、農作物被害に加え、住宅地への侵入、石垣の倒壊、車との衝突、通行人への襲撃など、住民の生活に深刻な影響を及ぼしている。本市独自の新たな対策を講じる考えはないか、市長の考えを伺う。

市長 住宅地への出没など、生活環境被害が後を絶たない状況である。このため、本市では鳥獣害に強い地域づくりを掲げ、「地域捕獲隊」による地域主体の捕獲対策を実施している。令和6年度の捕獲頭数2,414頭のうち、654頭を地域が主体となって捕獲しており、これは被害対策の大きな成果であると感じている。



大島大橋公園の維持管理について

問 公園や展望台は、本市を訪れる方々にとって魅力的な観光スポットであり、市内外から多くの訪問者を引き寄せる重要な施設である。大島大橋公園は現在、公園内の遊歩道は老朽化し、危険なため立入り禁止区域となっている。維持管理体制を強化すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

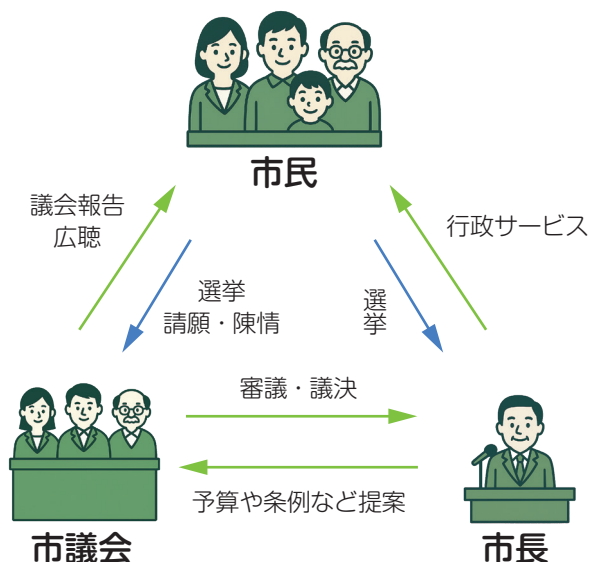
市長 公園内の遊歩道については、建設から26年が経過し、令和元年に大規模改修を行ったが、その後使用している木材の経年劣化等により、現在一部の区域を立入り禁止としている。遊歩道の全面的な改修には多額の費用を要するため、コースを縮小し、展望台モニュメントまでの最短ルートを確認する改修を検討している。



特集：議会のしくみ

第1回「議会って何をしているの？」

この特集では、ちょっと難しそうに見える「議会のしくみ」について、全7回にわたって、わかりやすく解説していきます。まずは、年間の流れや議会の役割から。議会を知る第一歩として、ぜひご覧ください。



「議会って、どんなことをしているの？」

そんな声をよく耳にします。市議会には市民の代表として、暮らしに関わる「**まちのルール(条例)**」や「**お金の使い方(予算)**」など、大切なことを話し合い、決めていく場です。

議会では、市長が提案する議案を、議員が慎重に審議・議決することで、市政が動いていきます。

また、議員が市民の声をもとに市政をただす「**一般質問**」も行われています。



ウグリン

令和6年度 政務活動費収支実績一覧

「西海市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、各会派の所属議員1人あたり月額15,000円×12ヶ月分を、会派に毎年交付しています。

(単位:円)

会派名		西海市議会 日本共産党	令政会	創生会	眞濤の風	吉粒会 (交付申請なし)	志政会
収入	① 政務活動費交付金	180,000	180,000	1,440,000	720,000	0	360,000
	② その他	0	0	0	0	0	0
	③ 計 (①+②)	180,000	180,000	1,440,000	720,000	0	360,000
支出	④ 調査研究費	23,100	0	0	408,555	0	89,800
	⑤ 研修費	0	0	982,821	196,350	0	121,490
	⑥ 広報費	76,985	0	0	0	0	0
	⑦ 広聴費	14,491	0	0	0	0	0
	⑧ 要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	⑨ 会議費	0	0	0	0	0	0
	⑩ 資料作成費	4,470	0	24,920	0	0	42,105
	⑪ 資料購入費	0	0	0	0	0	0
	⑫ 人件費	0	0	0	0	0	0
	⑬ 事務所費	0	0	0	0	0	0
	⑭ その他	0	0	0	0	0	0
	⑮ 計 (④～⑭)	119,046	0	1,007,741	604,905	0	253,395
	⑯ ⑮のうち、政務活動費計 (④～⑬)	119,046	0	1,007,741	604,905	0	253,395
⑰ 残額 (③-⑯)		60,954	180,000	432,259	115,095	0	106,605
⑱ ⑰のうち、政務活動費返還額 (①-⑯)		60,954	180,000	432,259	115,095	0	106,605

西海市議会会派一覧

会派とは、市政に対して同じ考え方や意見を持つ議員が集まったグループのことで、政務活動費は会派ごとに支給されます。なお、西海市議会では1人でも会派を結成できます。

会派名	会 員
西海市議会日本共産党	湊瀬 栄子
令政会	永田 良一
創生会	佐嘉田敏雄
	平野 直幸
	浅田 直幸
	百岳 一彦
	小嶋 俊樹
	杉山 誠治
	荒木 吉登
	西川 勝則

会派名	会 員
眞濤の風	戸浦 善彦
	渡辺 督郎
	朝長 隆洋
	片山 智弘
吉粒会	平井 満洋
志政会	田川 正毅
	打田 清

※会派の順番は届出順です。

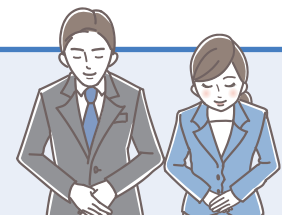


西海市議会クイズ終了のお知らせ☆彡

これまで皆様にご好評いただいております「市議会クイズ」ですが、紙面のリニューアルに伴い、第76号(令和7年2月5日発行)をもちまして終了とさせていただきます。

これまでクイズを楽しみにしてくださっていた皆様には、心より感謝申し上げますとともに、終了に際しご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後も西海市議会だよりでは、皆様にとって魅力的で手に取りやすい紙面づくりを目指してまいります。引き続きご愛読いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



**第32回
西海市議会
クイズ解答**

(1)①
(2)②
(3)①
(4)①



市民と議会のつどいについて、今回は実際に対面で会うことによって、意見交換ができるので、Hogetなど市民が行きやすい場所で開催してほしい!と思いました。

(崎戸町 10代未満)



救急クリニックの開院とてもうれしく思います。心待ちにしていた方も心強いと思います。これを機に移住者が増加することを願っています。

(大瀬戸町 60代)



とてもわかりやすく読みやすかったです。西彼杵道路と大島大橋を将来的につなげてほしいです。

(時津町 40代)



質疑応答が簡潔に要約されていて分かりやすい。

(大島町 30代)

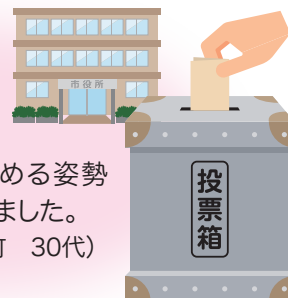
議員の一般質問する議員の取り決めはどのように取り決めているのか。

(西彼町 70代)



いつもありがとうございます。市長選、市議選を控えこれからの西海市にどんな変化が必要か、一市民として見極める姿勢を改めて持ちたいと思いました。

(西海市 30代)



本誌にみなさまのお声をお聞かせください。

西海市議会だよりでは、「読者の声」を募集しています。皆様のご意見は、一部を掲載し、今後の議会だよりの参考にさせていただきます。



こちらから応募できます

令和7年4月の選挙を経て、8人の新人を迎えた新体制で西海市議会がスタートしました。市民の皆様の期待を背に、6月定例会では実に15人が一般質問を行い、議論の熱量と多様性を強く感じました。人口減少や地域課題が山積する今だからこそ、議会は変化に挑み、暮らしに寄り添う存在でありたいと思います。議会だよりもまた、その一端を担うものとして、より伝える、より読まれる紙面づくりを目指しています。委員長として、その役割に責任を持ち、丁寧でわかりやすい編集に努めてまいります。今後とも市議会への関心とご意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(片山 智弘 委員長)

編集後記



議会広報広聴委員会



さいかい
市議会だより

No.77

令和7年8月5日発行

発行責任者◎西海市議会議長
編集◎議会広報広聴委員会

〒857-2392
長崎県西海市大瀬戸町瀬戸郷2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化合物（VOC）の発生を低減できる植物油インキを使用しています。